(1次元量子箱におけるド・ブローイ波)debrogli-1dim-freee-particle-qa091129a.tex

質量mの(量子的)粒子が長さLの直線上に束縛されているだけで、力が働いていないとする。(1次元量子箱)。ド・ブローイ波にもとづいた議論を適用すると、この粒子のエネルギーは不連続な(離散的な)値だけしか許されないことを示し、これらの値を求めよ。特に、可能な最低エネルギーを記せ。ただし、プランク定数をhとする。

(解答例)

この粒子の運動量をpとすると、ド・ブローイの関係より、物質波の波長 λ は

$$\lambda = \frac{h}{p} \tag{1}$$

与えられる。題意より、両端を固定端と見なして半波長の整数倍が長さLに等しくなるような波のみが可能であるから、その波長は

$$\frac{\lambda}{2} \cdot n = L, \ (n = 1, 2, \cdots) \tag{2}$$

で与えられる。この式(2)を式(1)に代入すると

$$p = \frac{nh}{2L} \tag{3}$$

が得られる。この結果をエネルギー E に代入すると

$$E = \frac{p^2}{2m}$$

$$\rightarrow E_n = \left(\frac{h^2}{8mL^2}\right)n^2, (n = 1, 2, \cdots)$$
(4)

のように、エネルギーは不連続的な (離散的な)値だけが可能になる。特に、最低エネルギーは $E_1 = h^2/(8mL^2)$ のように、ゼロではなく、有限の値となる。